

山寺通信 2 月号

1月号で紹介しました中国製の製品がやっと通関します。同一種類のものがサイズの違いで600cc未満でなく以上だったので別物と認定され検査と番号登録が必要になりました。遅くなりご迷惑をおかけしました。食品や食品に接触する物の輸入はすべて食品検査の対象になり、検査して厚生省に品番と品名を登録しなければなりません。最近のガラス製品にはシリコンゴムが多く使われています。シリコンゴムは、耐熱性、耐寒性にすぐれ、特に耐候性に関しては、耐候性試験を10年以上続けても劣化がほとんどありません。ただし食品検査にパスするものと使用できない物があるため、検査はかなり厳重にされ多くのサンプルを提出して行われます。シリコンは電気の半導体ですので色々に利用されています。

ルイボスティーを輸入している業者の方に聞きましたが、各ドリンク製造業者が今年はかなり力を入れるそうです。ルイボスティーと言えばノンカフェインがキーワードになります。珈琲のカフェイン含有量は60mgと確かに多い気がします。煎茶や焙じ茶で一般に表示してある含有量は20mgです。カフェインが悪者にされる傾向がありますが、眠気を取ると表現するより脳の活性化方が良いのではないのでしょうか。渋谷の新しいショッピングエリアにあるドイツ系のお店では、ノンカフェイン専門店としてのルイボスティーが人気です。ここで売られているお茶の携帯ボトル「タンブラー」も人気のようです。

